

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和2年12月24日

和泉市長 あて

団体名 和泉相撲甚句健康教室

代表者名 有本 博幸

所在地

電話番号

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	和泉相撲甚句健康教室
申請コース	(1) 公益活動支援コース ■チャレンジコース □ステップアップコース (2) 地域活性化コース □地域活性化コース
事業費総額	_____ 238,400 円 (うち、対象経費 _____ 238,400 円)
支援金 交付申請額	_____ 100,000 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(はい) ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団 体 概 要 書

フリガナ	イズミスモウジンクケンコウキョウシツ		
団 体 名	和泉相撲甚句健康教室		
団体の目的	和泉市民に対し、本団体に関する業務を行い、相撲甚句の普及と地域の活性化及び高齢者の健康福祉の増進を図ること。		
市内事務所			
	電話		FAX
フリガナ	アリモト ヒロユキ		
代表者指名	有 本 博 幸		
連 絡 先	ワタベキミヲ	電 話	
	渡 部 公 雄	FAX	
	住 所		
設立年月日	H 31 : 9	主な活動区域	和泉市内
会報等の発行	・ 有 (回 発行) ・ 無	会員数	8 人
メールアドレス			
ホームページ			
主な活動内容	○ 和泉市民が自由に参加出来る相撲甚句健康教室を開催する。		
	○ 和泉市内の老人施設等を慰問し、相撲甚句を披露する。		
	○ 和泉市内で開催される各種行事等に参加し、相撲甚句を披露する。		
主な活動実績	○ 相撲甚句健康教室の開催 2020年 24回 延べ約 200名 参加		
	○ 2019年 7月、老人ホーム 半四郎 を慰問、相撲甚句披露する。		
	○ 2019年 11月 「和泉市の文化祭」 に出演、相撲甚句を披露する。		
	○ 2020年 11月 和泉市アイあいロビーに相撲甚句の紹介パネル展示		
国・府・市及び	年度	名 称	金 額
各種団体から の他の補助金 及び委託実績	無し		

様式第3号（第7条・第15条関係）

事業計画書

1 事業名	和泉相撲甚句健康教室	
2 申請コース	<input type="checkbox"/> (1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース	<input type="checkbox"/> ステップアップコース
3 事業の必要性（※別紙添付可）		
<p>①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等</p> <p>少子高齢化や、地域住民の連帯感の希薄化が進展しており、</p> <p>①伝統文化の衰退 ②地域帰属意識の低下 ③高齢者の健康管理の問題 等、多くの問題を惹起している。</p> <p>②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果</p> <p>相撲甚句健康教室の開催や地域の催しへの参加により、</p> <p>①伝統文化の伝承・興隆 ②地域への帰属意識の強化 ③高齢者の健康管理 等、多くの問題点の解消に寄与する。</p>		
4 事業内容（※別紙添付可）		
<p>①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。</p> <p>①不特定の和泉市民を対象に、相撲甚句健康教室を月2回開催する。 ②各種イベントに参加し、市民に相撲甚句を披露する。 ③和泉市内の老人施設等を訪問し、相撲甚句を披露し、入所者と共に歌う。 等の事業を実施する。</p>		
②実施期間（日時）	令和3年4月1日～令和4年3月21日	
③実施場所	和泉市内（和泉市コミュニティセンター、繁和町会館、老人施設、各種イベントへの参加、など）	
④主な対象者	和泉市民	
⑤参加予定者数	定期教室 10人×24回=240人 教室以外にも、イベント参加や施設訪問を通して、たくさんの方に相撲甚句を披露する予定。	
⑥告知方法	和泉市広報紙等、和泉府中駅や、和泉中央駅等でのチラシ配布	
5 事業スケジュール		
次期（月）	内容	
4月～3月	①相撲甚句健康教室は、毎月第一金曜日に繁和町会館で、第三水曜日に和泉市コミュ	

	<p>ニティセンターで定期的開催し、和泉市や和泉市社会福祉協議会等の広報紙や駅等での広報チラシの配布等により、不特定多数の和泉市民の参加を求め、相撲甚句の歌い方や、歌詞の作成要領等の指導を行う。</p> <p>②各種イベントに参加して市民に相撲甚句を披露する。</p> <p>③和泉市内の老人施設等を訪問し、相撲甚句を披露するとともに歌い方や歌詞の作成要領の指導を行う。</p>
<p>6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)</p>	
① 公益性	<p>①日本の国技である大相撲の力士らが「稽古の厳しさ」や「故郷への思い」を哀愁漂う独特の節回しで歌う相撲甚句は多くの愛好者が居る地域に根付いた伝統文化であり、この日本古来の伝統文化を風化させてはならない。</p> <p>②相撲甚句を介して繋がった輪は、地域の連帯感の醸成に繋がり、腹の底から声を出す相撲甚句は和泉市民、特に高齢者の健康増進に繋がる最適な事業である。</p> <p>③相撲甚句は「伝統文化の衰退」・「地域連帯意識の希薄化」・「高齢者の健康問題」等々、地域が抱える課題の解決に最適な事業である。</p>
② 継続性	<p>④事業の目的が「伝統文化の興隆」・「地域帰属意識の醸成」・「市民、特に高齢者の健康の増進」といった、誰もがいつの時代にも希求するものであり、皆で相撲甚句を一緒にすることで、地域の連帯感醸成にも繋がっていきと考えている。</p> <p>⑤会員の会費をもって財源確保に努めている。</p>
③ 実行性	<p>⑥月2回の定期的な健康教室、和泉市や和泉市社会福祉協議会、和泉市内の老人施設等と連携した事業計画、及び事業遂行に必要な最小限の予算も確立されている。</p> <p>⑦現在会員は8名であるが、団体内で教えられる体制が整っており、成果が期待できる十分な体制である。</p> <p>⑧事業の成果をより確実に、更に大きくするために必要最小限の申請額です。</p> <p>⑨現在の会員は、目標達成に熱意があり、定期的に会うため会員同士の意思疎通もできている。</p>
④ 協働性	<p>⑩本事業に参加するには甚句を歌う気力・体力があるだけで十分であり、誰でも参画できる事業である。</p> <p>⑪相撲甚句や民謡又、謡曲やフラダンス等の愛好市民も、その団体も目指す目的・成果は同じで、活動の場も同じような所で、常に相互連携の重要性は認識しており、そのきっかけづくりになる事業である。</p> <p>⑫相撲甚句の愛好者はどこの地域にも、どんな世代にもおり、地域や世代をこえた幅広い交流、協力が図られる事業である。</p>
⑤ 公開性	<p>⑬和泉相撲甚句健康教室設立以来3回の新聞記者の取材に応じたり、和泉市社会福祉協議会と連携したボランティア講座の企画や、市民の理解と参加を求めるための主要駅での広報チラシの配布等積極的に情報発信に努めている。</p> <p>⑭「新聞報道の活用」、「和泉市や和泉市社会福祉協議会等との連携」、「広報チラシの配布」、「地域に密着した会員の口コミ作戦」等により多くの市民の理解と関心が得られ、活動に参加してもらえる工夫している。</p>
⑥ 発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	<p>⑮「日本古来からの伝統文化の興隆」・「地域への帰属意識の醸成」・「心身の健康増進」といった目的は誰もが希求する願いであり、今後も継続していく事業であると言える。</p>

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 和泉相撲甚句健康教室

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	100,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入		
自主財源	138,400	
合 計	238,400	

2. 【支 出】

(単位：円)

費 目	金 額	積算根拠 (数量、単価等)
旅費	32,000	教室及び出演時等交通費
消耗品費	31,000	文房具 (インク、用紙等)、教材、のぼり、垂れ幕等
印刷製本費	5,000	簡易印刷
役務費	12,000	通信費、送料、ボランティア保険
使用料・賃借料	158,400	会場使用料 (繁和町会館、和泉市コミュニティセンター)
備品費 (対象経費)		
備品費 (対象外経費)		
合 計	238,400	
対象経費	238,400	

※費目は、別表第3 (第10条関係) に記載されているとおりに記載してください。
 ※備品費 (対象経費) には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。